

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新潟県	代表者名	遠間 文男		
担当者部署	ICT推進課	連絡先電話番号	025-280-5105		
担当者役職	政策企画員	担当者氏名	長沼智子	連絡先E-mail	*****
住所	950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体情報システムの標準化についてわかりやすく講演いただき、市町村からの質問や意見等に気さくに丁寧にご回答いただき、大変有意義な意見交換をすることができました。
アドバイザーへの要望事項	また機会がありましたらよろしくをお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年8月23日	講演	無	開始時刻	終了時刻
				13時30分	15時30分
				活動時間（分）	内休憩時間（分）
					0
					120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市町村職員・県職員	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体システムの標準化については、今までにない大きなプロジェクトであり、専門的な立場からのアドバイスや国の動向などの情報や、円滑に移行するためのポイント等の助言をいただきたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市町村が自治体システムの標準化に安心して円滑に取組を進められるよう情報が共有されること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化についてのご講演と質疑応答による助言。 （講演内容） ・国の取組みと事例から考える ・公共サービスメッシュの世界 ・今後の論点 ・最近いただいた質問の紹介 など	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	ご講演と質疑応答を通じて、これまでの議論の過程や今後の国の動向、円滑に移行を進めるためのポイントなどが共有された。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 様々なテーマでこのような会を開催しており、アンケートではなく当日参加市町村から感想をいただいている。(主な感想)これまでの議論の過程や今後の方向がわかってよかった。参考になる話だった。お話を聞いて積極的にやらなければならないと感じた。など。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末を目標に自治体情報システムを標準化する。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



